

# 基準密度計・LPガス用密度試験器

有限会社横田計器製作所

## 基準密度計 24 本組

計量研究所にて「密度」の標準器、基準器として採用されています。また、地方庁、試験所、研究所などで各種の検定・検査用に使用されています。

### 仕様等

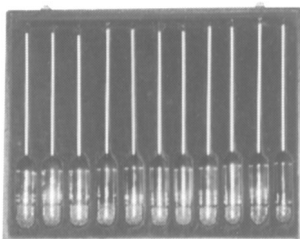
目盛 0.600 ~ 2.000g / cm<sup>3</sup>、最小目盛 0.0002g / cm<sup>3</sup>

標準温度 15 全長 約 370 mm

器差検査 0.01g / cm<sup>3</sup>毎 基準器検査成績書添付

### 当社製品の特徴

目盛盤に白色塗装した金属箔を採用  
目盛線、目盛数字などが鮮明  
目盛盤の上部を金属箔でカシメガラス管に融着  
目盛盤の位置確認ができる  
高温、低温にも耐えられる



## LP ガス用密度試験器

(LP ガス用密度計と LP ガス用耐圧シリンダー)

液化石油ガス (LPG) の密度測定に用いられ、その測定密度を基に LPG の質量、体積、種類など、また、課税や商取引に必要な諸事項を知ることができます。さらに LPG の充填場において使用しますと、「精密な計算方法」として税務署の承認を得られます。

### 仕様等

密度計、耐圧シリンダーとも JIS - K2240 (LP ガス) の規格により製作してあります。

又、米国天然ガソリン協力 (N.G.A.A.) 材料試験協会 (A.S.T.M) および国際標準化機構 (I.S.O.) の規格をも参考として製作してあります。

耐圧シリンダーは、耐圧試験、気密試験の試験検査成績書付です。

密度計は経年変化の少ない特殊構造の金属円筒目盛盤を採用しています。

## トレーサビリティについて

トレーサビリティ諸表 (体系図、計量器校正証明書、器差試験成績書)

- ・新計量法のトレーサビリティ制度は国際的な品質保証規格 (ISO9000) を踏まえています。
- ・(ISO9000) では < 計測標準及び計測設備は国家標準へトレーサビリティを有する計量器を使用して校正されなければならない > と規定されています。
- ・弊社では (ISO9000) (JIS Z 9900) をクリアし国家標準につながる。

### トレーサビリティ諸表

- ・体系図..... 標準のフローチャート
- ・計量器校正証明書... 検査の方法・標準器等
- ・器差試験成績書..... 器差値の記載

を付した密度計、比重計、濃度計を製造販売しています。

- ・また、現在御社でお使いの密度計、比重計、濃度計については弊社にお持ち込みくだされば検査のうえトレーサビリティ諸表を発行いたします。

### LP ガス用密度計の種類

種類	目	盛	封入温度計 (°C)	標準温度 (°C)	耐圧 (MPa/cm <sup>2</sup> )	備考
基準器 LS - 1	0.500 ~ 0.650	g / cm <sup>3</sup> 0.002	-10 ~ 40 1.0	15	1.0	基準器検査成績書添付
LS <sup>II</sup> - 2	0.550 ~ 0.650	0.001	"	"	"	"
LS <sup>II</sup> - 3	0.470 ~ 0.570	"	"	"	1.5	"
JIS -	0.500 ~ 0.600	0.001	-1 ~ 32 0.5	15	1.5	メーカー検査成績書添付
JIS -	0.500 ~ 0.650	"	"	"	1.0	"
K - 15	0.500 ~ 0.650	"	-10 ~ 40 1.0	"	1.5	"
K - 10	0.500 ~ 0.650	"	"	"	1.0	"
S	0.450 ~ 0.550	"	"	"	1.5	"
ASTM	0.500 ~ 0.580 0.570 ~ 0.650	"	"	"	1.5	"

(注) [基準器検査] 通産大臣が計量法に基づいて行う基準器検査です。有効期間は3年で、支障がなければ再検査を受けられます。  
[メーカー検査] 当社が計量法の検査規則に準じて検査をします。有効期間は3年で、経過後は再検査をおすすめいたします。



### 検定付

JIS - I JIS - II K - 15 K - 10 S